「（仮称）川越市空家等対策計画（原案）」に対する意見募集の結果について

１　意見募集の概要

　⑴　募集期間　　平成30年4月17日（火）～5月16日（水）

　⑵　募集対象

　　①市内に住所を有する者

　　②市内の事業所等に勤務する者

　　③市内の学校に在学する者

　　④その他案に関し利害関係を有する者

　⑶　閲覧場所　　防犯・交通安全課、各市民センター、南連絡所

　⑷　意見提出方法

　　①直接持参

　　②郵送

　　③ファクス

　　④市ホームページからの電子申請

２　意見募集の結果

　⑴　意見提出者　　１名

　⑵　意見件数　　　４件

３　意見の概要と市の考え方

　　提出された意見の概要と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 意見の概要 | 市の考え方 |
| １ | 【空き家バンクについて】  空き家バンクは、空き家対策推進上、重要であると考えるが、有効に活用するために、登録手続き等については工夫をし、できるだけ簡便に利用できる制度にしてほしい。 | 空き家バンクについては、速やかに設置できるよう努めてまいります。ご意見については、今後の参考とさせていただき、実施にあたっては、市民の方が利用しやすいよう、登録手続き等について検討してまいります。 |
| ２ | 【市民への情報提供・意識啓発について】  市民への情報提供に際し、自治会の協力は非常に重要である。回覧板等の広報スキームを有していることから、自治会と十分な協力関係を構築してほしい。  また、新たに相談会を開催する際には、ＮＰＯ法人など民間の力を使い、セミナー形式も検討してほしい。個別相談においては、相談を受けた者（不動産会社や建設会社等）の利益になるよう誘導されるのではと市民が不安を感じないよう、誰が相談を受けるかという点が重要であるため、配慮してほしい。 | 今後、市ホームページや広報紙、その他パンフレット等を活用した、情報提供・意識啓発に関する取組を実施していく予定です。空家等対策を推進していく上で、自治会との連携は重要であると認識しており、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。  　また、相談会の開催について、ご意見については今後の参考とさせていただき、民間を含めた関係団体との連携を図り、効果的に実施できるよう、努めてまいります。 |
| ３ | 【助成金について】  限られた予算を有効に使うため、条件面をよく考慮した上で、管理・改修・解体・その他使い道をを組み合わせてできればよいと思う。将来のインフラ維持費を軽減できるような建物解体などに対しては、積極的に助成金を投入できれば、税金の使い方としては有効と考える。例えば、狭小住宅地における隣地購入の助成金はどうか。  また、立地適正化計画と連動する形で助成金制度を作れたら良い思う。 | 居住環境の整備改善を図るため、空家の取り壊しや活用に関する国の補助金の活用を検討しています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。 |
| ４ | 【将来について】  2022年に迫る生産緑地解除についての検討を早めに始めるべきである。  直近10年くらいの間に市街化調整区域に作られた住宅地が、20、30年後に老朽化し始め、空家化するため、早めの対策が必要である。 | ご意見については、今後の参考とさせていただき、市民の方々の安全安心な暮らしを確保するため、関係部署と連携を図りながら空家等対策を総合的かつ計画的に推進できるよう、努めてまいります。 |